### 【固定資産管理システムの仕訳データを財務システムに連携する手順】

# Ⅰ 概要

# 1. 連携する仕訳の内容

(1) 固定資産管理システムでは、減価償却などの仕訳データを作成して、財務システムに連携できます。

(2) 固定資産管理システムで作成する仕訳の内容と、作成するメニューは以下のとおりです。

なお、仕訳を作成するタイミングに応じて、2つのメニューに分かれています。

①都度作成する仕訳:メニュー「161 仕訳の作成(取得・除売却等)」

行	資産	処理内容(仕訳)
1	購入資産	新規購入資産の取得
2		資本的支出の計上
3		取得後の圧縮記帳
4		除却
5		売却
6	リース資産	リース資産・リース債務の計上
7		リースの中途解約
8		リース満了資産の返還
9	資産除去債務	資産除去債務・除去費用の計上
10		資産除去債務の見積り変更
11		資産除去債務の履行

#### ②各月ごとに作成する仕訳:メニュー「511 仕訳の作成(償却・リース料支払等)」

行	資産	処理内容(仕訳)
1	購入資産、リース資産、	減価償却
2	資産除去債務共通	事業・勘定科目の変更及び事業所の変更に伴う振替仕訳
3		減損損失
4	購入資産	特別償却(損金経理方式の場合)
5	リース資産	前払リース料の支払い
6		リース料の支払い
7		前払リース料の充当
8		リース期間が満了し、割安購入選択権を行使した場合
9		リース期間が満了し、返還した場合
10		リース料の支払対象となる期間(月)と、リース料の支払日の属する月が異なる場合
11	資産除去債務	資産除去債務の時の経過による調整額
12	指定正味財産	指定正味財産の振替額

### 2. 作業手順(概要)

(1) 固定資産管理システムでの作業

①入力項目の桁数の設定 ※システム利用開始時に設定します。利用開始後は変更できません。
②基本情報の登録
③仕訳(計上科目)の設定
④各イベント(新規購入資産、除却・売却等)の入力時の設定
⑤仕訳の出力形式の設定

⑥仕訳データの作成

(2) 財務システムでの作業

①「法人コード」の登録

②仕訳データの読込

#### Ⅱ 固定資産管理システムでの作業(詳細)

### 1.入力項目の桁数の設定

(1) 財務システムに仕訳を連携させるためには、固定資産管理システムの「事業」や「勘定科目」などの基本情報の「桁数」や「形式」の設定を、 財務システムに合わせる必要があります。

(2) 各システムの設定メニューと、項目は以下のとおりです。

# <u>※当設定は、システム利用開始時にのみ行えます。利用開始後は変更できません。既に、財務システムと固定資産管理システムで不一致の状態で</u> 運用されている場合は、財務システムで仕訳データを読み込む際に、変換表を使って読み込んでください。

 $\textcircled{1} \times \square \square -$ 

1)財務システム :システム管理「1 データ」

2)固定資産管理システム:システム管理「1 データ」

②項目

行	百日	財	務システム	固定資	産管理システム	仕訳読込時	備老
٦J	「「「」」「「」」」「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	桁数	形式	桁数	形式	の変換可否	加方
1	事業コード	3~8	英数字、数字	3~8	英数字、数字	0	
2	勘定科目コード	4~12	英数字、数字	4~12	英数字、数字	0	
3	補助科目コード	3~6	英数字、数字	3~6	英数字、数字	0	
4	取引先コード	6~12	英数字、数字	6~12	英数字、数字	0	
5	伝票番号	5~12	数字のみ	ाग्वि	设定不可※	×	※数値で最大12桁までの値で付番している
6	証憑書番号	6~12	英数字、数字	6~12	英数字、数字	×	定義を合わせる必要あり

### 2. 基本情報の登録

(1) 財務システムに仕訳を連携させるためには、固定資産管理システムの「事業」や「勘定科目」などの基本情報を、財務システムに合わせる 必要があります。

(2) 登録する基本情報と、固定資産管理システムでのメニューは以下のとおりです。

①事業:「711 事業」
 ②勘定科目:「715 勘定科目」
 ③補助科目:「716 補助科目」
 ④取引先:「717 取引先」

# 3. 仕訳(計上科目)の設定

(1) 固定資産管理システムで仕訳を作成するためには、仕訳計上する勘定科目の設定が必要になります。

(2) 仕訳計上する勘定科目の設定方法は、仕訳の内容により以下の3つに分かれます。

①減価償却費の計上科目

②減価償却費以外の計上科目(法人全体で共通の設定)

③減価償却費以外の計上科目(資産・イベント登録ごとの設定)

(3) 減価償却費の計上科目 【固定資産 マニュアル:「第3章 4.5.減価償却費の計上科目」参照】

①メニュー「725 減価償却費の計上科目」

1)以下の原価区分別償却費を計上する勘定科目を設定します。

- a.事業費
- b.管理費

c.経常外

2)計上科目の設定には、以下の2つがあり、どちらかを選択して設定する必要があります。

a.資産種類別設定

b.勘定科目別設定

②メニュー「721 資産種類」

1) 仕訳作成時に、上記①2) のどちらの設定を参照するかは、基本情報の「資産種類」の設定によります。

2)メニュー「721 資産種類」の各資産種類の「償却費計上科目」欄の設定

a.資産種類単位

b.勘定科目単位

※資産明細の償却費計上科目が決まるまでの流れ

【例:勘定科目単位で設定している場合】

①資産明細「ノートパソコン」の資産種類は「18:器具及び備品」のため、「721 資産種類」の「18:器具及び備品」の設定を参照します。

②「721 資産種類」の「18:器具及び備品」の償却費計上科目の設定では、「勘定科目単位」を選択しています。

③上記①②から「ノートパソコン」の減価償却費の計上科目は「勘定科目単位」となります。

④資産明細「ノートパソコン」の固定資産計上科目は「1266:什器備品」です。

⑤「725 減価償却費の計上科目」の「勘定科目別設定」のうち、「1266:什器備品」の償却費計上科目の設定が「ノートパソコン」の設定

となります。

	資産明細						「725 減価償却費の計上科目」の設定						
資産コード・名称 12345 ノートパソコン					設	位	原価区分	原価区分 償却費計上科目					
資産種類	18 器具及び備品			資産種類別設定	18	器具及び備品	事業費	XXXX	0000000				
(固定資産)科目コード	(固定資産)科目コート 1266 什器備品		,					管理費	XXXX	0000000			
								経常外	-	-			
					勘定科目別設定	1266	什器備品	事業費	4342	減価償却費(事業)			
「721 貣	資産種類」	の設定						管理費	4463	減価償却費(管理)			
資産種類	18	器具及び備品	•		1			経常外	—	—			
償却費計上科目 資産種類単位													
	勘定科目	単位 ※選択中											



資産明細										
資産コード・名称	12345	ノートパソコン								
資産種類	18	器具及び	備品							
(固定資産)科目コード	1266	什器備品								
減価償却費の	事業費	4342	減価償却費(事業)							
	管理費	4463	減価償却費(管理)							
	経常外	_	_							

(4) 減価償却費以外の計上科目(法人全体で共通の設定) 【固定資産 マニュアル:「第3章 4.6.償却費以外の計上科目」参照】 減価償却費以外の仕訳のうち、法人全体で共通の勘定科目を使用する仕訳の設定です。

①メニュー「726 償却費以外の計上科目」

リース料支払や資産除去債務の時の経過による調整額の仕訳を自動計上する場合は、以下の仕訳の計上科目を設定します。

1)リース料の支払仕訳

a.「リース(貸借対照表科目)関連」タブの「前払費用」「未払費用」

b.「リース(損益計算書科目)関連」タブの「支払利息」「リース料」「維持管理費」

2) 資産除去債務の時の経過による調整額

a.「資産除去債務関連」タブの「時の経過による調整額」

※項目名の後に「※」が付いている項目が、仕訳作成する場合、入力が必要です。

「※」が付いていない項目は、資産登録時の初期値としての設定です。

<b>討</b> 入資産関連	リース(貸借	請対照表科目)関	連 リース	〔損益計算詞	野目)関連	資産除去債	務関連		
【リース債務】									
勘定科目				覧					
補助科目				覧					
【消費税債務】									
勘定科目				覧					
補助科目				覧					
【前払リース》	料】								
勘定科目				覧					
補助科目				覧					
【前払費用】	*								
勘定科目				覧					
補助科目				覧					
【未払費用】	*								
勘定科目				覧					
補助科目				覧					
♠「※」の項目	目は、リース制	料の支払仕訳を	自動作成する	場合、入力	が必要です。				

### (5) 減価償却費以外の計上科目(資産・イベント登録ごとの設定)

減価償却費以外の仕訳のうち、資産明細やイベントごとに、別の勘定科目を使用する仕訳の設定です。 以下の仕訳の計上科目は、資産明細やイベントを登録するメニューで設定します。

行	資産	処理(仕訳)内容	仕訳の計上科目の設定メニュー
1	購入資産	新規購入資産の取得	101 新規購入資産
2		資本的支出の計上	103 資本的支出
3		取得後の圧縮記帳	107 取得後の圧縮記帳
4		除却	121 除却
5		売却	122 売却
6		特別償却(損金経理方式の場合)	205 特別償却
7	リース資産	リース資産・リース債務の計上	102 新規リース資産
8		リースの中途解約	123 リースの中途解約
9		リース満了資産の返還	124 リース満了資産の返還
10	資産除去債務	資産除去債務・除去費用の計上	221 新規資産除去債務
11		資産除去債務の見積り変更	222 資産除去債務の見積り変更
12		資産除去債務の履行	223 資産除去債務の履行
13	購入資産、リース資産	減損損失	212 減損(資産グループ単位)
			213 減損(資産単位)
14	指定正味財産	指定正味財産の振替額	729 指定正味財産

### 4. 各イベント(新規購入資産、除却・売却等)の入力時の設定

(1) 仕訳作成の有無の設定

①各イベント(新規購入資産、除却・売却等)の入力画面で、入力内容に関する仕訳を作成するかを設定します。

各イベントの入力画面の「 当該仕訳に関する仕訳を作成する」のチェック欄で設定します。

なお、チェック欄の初期値は、メニュー「701 法人情報」の「自動仕訳作成」で設定できます。

【101 新規購入資産】

「取得」に関する仕訳作成の有無を設定します。

チェックを付けない場合、当該資産の「取得」の仕訳は、作成されません。

具儿生作里兴具					
基本情報 減価償却・減	損   計上和	科目・部門	仕訳設定	償却資産申告	管理
☑当該入力に関する仕訳を	作成する			-	
課税区分				劉── 劉	Ī
消費税率	~				
取得価額			円(税抜き)		
仮払消費税等			円		
未払金の計上先					

②原則として、以下の仕訳は、仕訳計上科目の設定をしている場合、必ず作成されます。

1)減価償却

2)特別償却(損金経理方式の場合)

3) リース料の支払(リース資産登録時に「リース契約の管理」を「管理する」としている場合)

4)資産除去債務の時の経過による調整額

5)指定正味財産の振替額

③なお、資産明細の登録時に、資産ごとに仕訳を全く作成しないように設定できます。

各資産明細の入力画面の「資産別仕訳設定: ✓ 当資産の仕訳を作成しない」のチェック欄で設定します。

当該設定をした場合、設定した資産明細に関する、上記①②の仕訳は作成されなくなります。

【101 新規購入資産】

基本情報	減価償	却・減損	計上	科目・	部門	仕訳	設定	償却資産
固定資産:	コード							
資産名	称							
資産種	類						一覧	
数量	t			~				
証憑書都	番号							
取引き	先							一覧
資産別仕調	訳設定	☑ 当資産(	り仕訳る	を作成し	ない			
取得年	月日	平成 ~	年	月	Β			
事業供知	用日	平成 ~	年	月	B			

### 5. 仕訳の出力形式の設定

メニュー「701法人情報」の「システム情報」で、仕訳の出力形式を設定します。

「仕訳の出力形式」とは、借方・貸方の仕訳の内容を「1明細(1行)で出力する」か「別明細(複数行)に分けて出力する」か の設定です。

財務システムが「FX4クラウド(公益法人会計用)」の場合、「借方・貸方を1明細で出力」が選択されていることを確認します。

基本情報 償却資産申告 システム情報 償却情報 !	ノース管理   自動仕訳作成
平成29年4月現在       申告書作成区分:     自動作成する       税額経理区分:     税抜き経理	
税率テーブル[1] : 平成 > 9年 4月 1日 ①	<u>5.0 % @ 80 % @ % @ % @ %</u>
税率テーブル[2] : 平成 〜 26 年 4 月 1 日 ①	8.0 <mark>% ② 5.0 % ③ % ④ % ⑤ %</mark>
端数処理 : ◉切り捨て ○四捨五入 ○	切り上げ
事業区分 : □ 固定資産の売却仕訳で、課税区分が[ 事業区分に[4](第四種事業その他)を	[1](課税売上げ)又は[11](課税売上げに係る対価の返還)の場合、 出力する
事業所別管理	仕訳の出力形式
●管理する ○管理しない	●借方・貸方を1明細で出力 ○借方・貸方を別明細で出力
固定資産コードの自動付番	ファイル切出設定
自動付番 : ●しない Oする 開始コード:	出力条件 : 〇出力する ④出力しない
│償却資産コードの入力	社外の事業所に属する資産の現物照合
固定資産コードの初期表示: ●しない ○する	○対象  ●対象外

# 6. 仕訳データの作成

- (1) 仕訳の作成は、作成するタイミングに応じて、それぞれ次のメニューで行います。
   ①都度作成する仕訳 :メニュー「161 仕訳の作成(取得・除売却等)」
   ②各月ごとに作成する仕訳:メニュー「511 仕訳の作成(償却・リース料支払等)」
- (2) 詳細は、マニュアル(虎の巻)を参照してください。
  - ①「161 仕訳の作成(取得・除売却等)」
    - マニュアル :「第4章 8.1.仕訳の作成(取得・除売却等)」
  - ②「511 仕訳の作成(償却・リース料支払等)」
    - マニュアル:「第8章3.1.仕訳の作成(償却・リース料支払等)」

### Ⅲ 財務システムでの作業(詳細)

### 1. 「法人コード」の登録

- (1) 以下のいずれかのメニューで、固定資産管理システムで作成した仕訳データを読み込むためのレイアウト
  - (「550 固定資産管理システム(クラウド版)」)に対して、「法人コード」を登録します。
  - 具体的には、メニュー「法人情報」の法人コード8桁を「固定値」として登録します。
- ①立上げ・運用支援
  - メニュー「6 連動システム」

#### ②会計業務

メニュー「706 連動システム」(基本情報タブ)

### 2.仕訳データの読込

(1)会計業務の「仕訳入力」タブの「8 他システムからの連動仕訳」で、固定資産管理システムの仕訳データを読み込みます。
 ①「連動システム」欄に、固定資産管理システム用の連動システムを指定します。
 ②「ファイル名」欄に、固定資産管理システムで作成した仕訳データファイルを指定します。

③「OK」ボタンをクリックします。

(2) 読み込んだ仕訳の内容を確認して、問題がない場合、「F4仕訳計上」で読み込んだ仕訳を更新します。 なお、仕訳に問題がある場合は「要修正」欄にチェックが付いて、「メッセージ」欄に内容が表示されます。 「要修正」の仕訳がある場合で、かつ、「仕訳の訂正・削除を禁止する」にチェックをつけていない場合は、 当該仕訳をクリックして、仕訳の詳細画面で修正します。

	3 他システムから(	の連動仕訳	(099999101)公	益財団法人 デ	モ1協会								-	
7711	(F) 表示(V)									_				
11	:訳連動	_	表	示設定			出							
要修正	メッセージ	月日	伝票番号 証憑書番号	借方 事業	勘定科目 補助科目	取引先 元帳摘要	税区 税率	取引金額 (内、消費税等)	貸方 事業	勘定科目 補助科目	取引先 元帳摘要	税区 税率	(内、	- 取引金額 消費税等)
	資金増減	4.30		収1:文化施	什器備品減価	減価償却費	0	2,500	収1:文化施	什器備品	減価償却費	0		2,500
		4.30		公1:芸術文	什器備品減価	減価償却費	0	8,338	公1:芸術文	減価償却累計	減価償却費			16,675
				公1 <b>:</b> 芸術文	什器備品減価	減価償却費	0	8,337						

※固定資産管理システムとの仕訳の読込では、メッセージに「資金増減」と表示され、「要修正」となる場合があります。 原因は、資金取引と非資金取引とが混在していて、資金の増減が一致してないためです。

(3)「要修正」の仕訳を選択すると、仕訳の詳細画面が表示されるので、「F5訂正」をクリックして修正します。

💴 8 他システムから	)連動仕訳 (09999101)公	益財団法人	デモ1協会								_		×
ファイル(F) 表示(V)													
年月日 平成	- 29 <mark>年 4月</mark>	30日(	伝票番号		 証憑書番·	号 🗌		受	主番号		]		
		借方							貸方				
事業 201	収1:文	化施設貸与	ラ事業		事業	201		収1:文(	匕施設貨	ぼ与事業			
勘定科目 4342	1	減価償却			勘定科目	1266		什器備品					
補助科目					補助科目								
取引先					取引先								
課税区分0 不	 課税取引	事区		税率	課税区分	0 7	不課税取引		事区		税率	3	

取引金額	2,500 (内、消)	<b></b> 費税等)	取引金額	2,500	(内、消費税等)	
小切手No	仕入れ日		小切手No	仕入れ日		
元帳摘要減価償却費	計上 平成29年 4月分	`	元帳摘要 減価償却			
備考						
収支科月9998	非資金取引			仕器備品		
収支補助						
7°						
, 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」		1	,	· · ·	内訳入力終了	
「 )에				14代十十年月 日		파리스늄
们怕力争未	1百万科日 1百万代	部の 武 中文 5 13	観見力事未	夏方科日	夏万怖助 禄	取り玉額
1 収1:又化施設	什器備品減	0 2	500   収 1 : 又化施設	什器備品	0	2,500
		借方合計 2	500		貸方合計	2,500
R-No. 4 / 290 921	入力者: seki	承認者:		「内訳追加」	「行挿人」「内訳修i	上   内訳削除
👩 前(	テ曹 🖪 次伊曹	<b>स</b> ्च ≜रक			「日日本	<b>EN</b> 20181-1-
<b>113</b> 891.					10 K O	

(4)修正後、「F4訂正終了」をクリックして、内容を更新します。

(5)上記(2)の仕訳の確認画面に戻り、「F4仕訳計上」で読み込んだ仕訳を更新します。

/以上